

春ノ八裏

なして悪道へあくだうに落へおちてなかくうかふ事なから
ましとおもふよりしてこそいとほつしん

のはしめなりけれ

殊へことへにきらめきて参りたりければ人へ

目をおどろき君もいみしく覺しめさ

るゝところに思はずに頭へとうの弁へへんにて

出家へしゆつけのいとまを申入たりければことに

おどろきおぼしめしてさらに御ゆる

されなかりけれども龍顔へれうがんへに近付へちかづきへたて